



内装用 消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI

アレスシッコイ

豊富な機能
選ぶだけの訳がある

大切なものは昔から 「漆喰の壁」

いにしえより日本に伝わる伝統的な壁塗材である「漆喰」は、自然素材独特の風合いと質感に加え、主成分である消石灰（水酸化カルシウム）の効果によるさまざまな機能を有しています。

『漆喰塗料アレスシックイ』は、この優れた自然素材である「漆喰」の機能をそのままに、高度な左官技術を必要としない、取り扱いしやすい、いわば「塗料状態化した漆喰」です。

大切なもののために・・・『漆喰塗料アレスシックイ』という選択はいかがでしょう。



内装用 消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI
アレスシックイ

漆喰に近づく、漆喰を超える。

そして、『アレスシックイ』へ

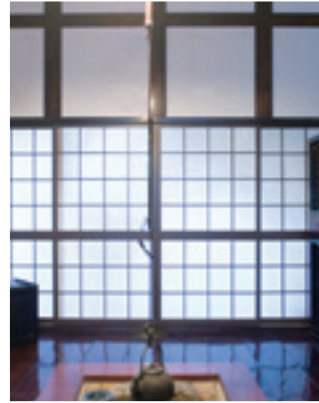
ここが『スゴイ!』 自然素材

主成分である消石灰の有する自硬性により強固な被膜が形成されるため造膜助剤等の揮発性有機化合物（VOC）は一切含有していません。また、消石灰（水酸化カルシウム）が長時間かけて炭酸化していく特性から、「環境」や「健康」に貢献する様々な機能を発揮します。

ここが『うれしい!』 簡単施工

これまで用いられてきた漆喰本来の良さを見直し、風合いを損なうことなく、優れた機能性を最大限に発揮した画期的な壁塗材です。ハケやローラー、スプレーによる一般的な塗装方法で施工が可能。広範囲に手軽に、しかも低コストで漆喰壁が再現できます。

で守られていました。



人に“やさしい”

安心して暮らせる快適空間の提供



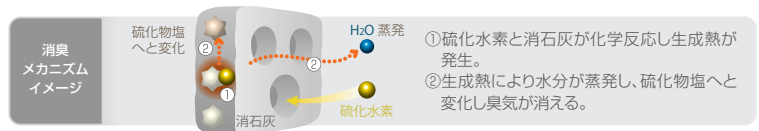
消臭機能

タバコやペット、生ゴミなどの生活臭を吸着し、浄化します。

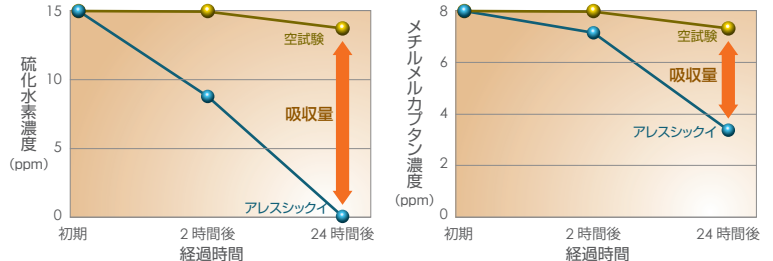
人が生活する環境には、いろいろな臭いが満ち溢れています。中にはペットやタバコ・トイレ・ごみの臭いなど、人に不快な印象を与える臭いも少なくありません。

アレスシックイを塗った壁なら、こうした不快な臭いを吸着浄化する機能があります。

リビングやトイレなどの他、ペットショップや喫煙空間・スポーツ施設や飲食店など臭いが気になる場所には、アレスシックイがおすすめ、きっと居心地の良い空間を創ります。



硫化水素・メルカプタン化合物吸収（消臭）実験



※アレスシックイ塗装板を5Lテドラーバッグにセットし、一定濃度の硫化水素又はメチルメルカプタン含有空気を封入し系内の該化合物濃度を測定。
【硫化水素】卵の腐った臭い。【メルカプタン化合物】タマネギ・キャベツの腐った臭い。(ペットの臭いの主な成分は低級脂肪酸類で、生ゴミ等の腐敗臭と同じ。)



抗菌・抗ウイルス機能

細菌の生育・増殖を抑制します。また、カビの発生の抑制にも効果が認められます。

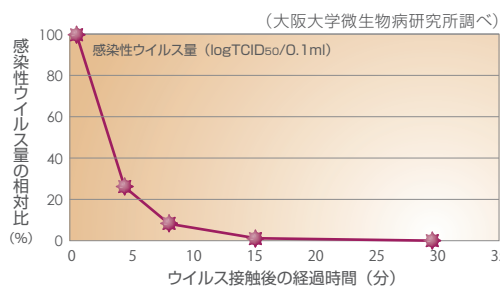
子供たちはいろいろなところを触り、手から口へと様々な菌を運んでしまうおそれがあります。

アレスシックイの壁は、漆喰の持つ抗菌機能により壁に付着した菌やインフルエンザウイルスの生育・増殖を抑制するので、安心して生活することができます。

こうした抗菌機能は、住宅だけでなく病院・福祉施設・学校など病気に対する抵抗力の弱い方が集まる場所では特に威力を発揮します。



高病原性鳥インフルエンザ H5N1 ウイルス感染価測定結果



アレスシックイ塗膜表面に鳥インフルエンザ H5 N1 ウイルスが接触することで感染力を抑える効果が認められています。
(抗菌剤・防カビ剤などの有機化合物は含まれておりません。)

※本塗膜はウイルス増殖抑制機能を有しますが、感染予防を保証するものではありません。



VOC吸着除去機能

揮発性有機化合物(VOC)であるホルムアルデヒドを吸着無害化し、トルエン、キシレン等を吸着除去します。
F☆☆☆☆ ホルムアルデヒド登録認定商品です。

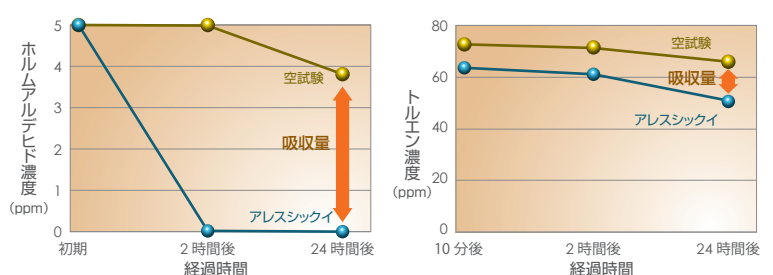
人が生活する住空間にもVOCは存在しています。壁紙などからもVOCが放散されている可能性があります。

アレスシックイは、シックハウスの原因となるホルムアルデヒドなどのVOCを吸着分解してくれます。

皆様が暮らす住宅の内装材としてご使用いただけたら、人にやさしく安心な生活空間を創ります。



ホルムアルデヒド・トルエン除去性評価試験



※空試験：同様な実験をアレスシックイ塗装板を入れないで行うこと。

建物に“やさしい”

大切な家を健康的になが〜く維持



防火認定材料

(旧基材同等 第0001号)

国土交通省防火認定材料 NM-8572、QM-9812、RM-9361 (有機質砂壁状塗料塗り) 適合品です。

漆喰の主成分である消石灰は無機物であり不燃性の物質です。

アレスシックイの成分も消石灰であることから、燃えにくく防火機能に優れています。

昔から大切なものを保管する蔵などに多く使用されてきた漆喰が火から壁を護り、建物そのものを守ります。



結露抑制機能

吸湿性と放湿性を有し、結露抑制に有効です。

高湿度環境は建材の腐食やカビの発生原因となり、人の健康被害だけでなく、家や建物の傷みを誘引します。

アレスシックイの壁は、消石灰の多孔質構造によって室内の湿気を吸湿、また放湿する機能を有していることから、室内湿度のバランスを保ち、結露を抑制する機能があります。

古くから日本に伝わる伝統素材の漆喰は、大切な家などを湿気から護る建物にやさしい素材です。

環境に“やさしい”

自然の素材を原料に地球環境保全にお役立ち



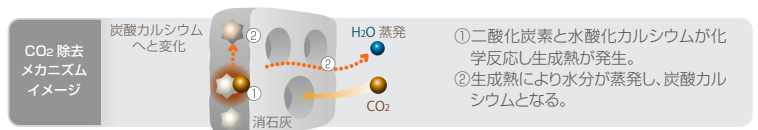
二酸化炭素吸収機能

形成された膜は長期間に亘り空気中の二酸化炭素を塗膜中に取り込みCO₂削減に貢献します。

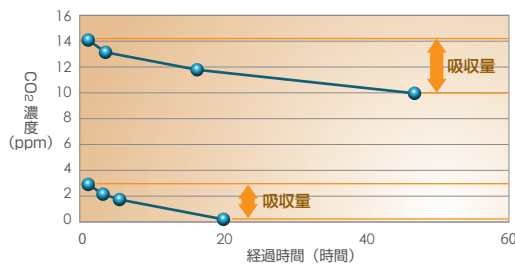
CO₂の発生が地球温暖化の原因であることは、よく知られています。

アレスシックイは、その成分である水酸化カルシウムがCO₂を吸着し、分解してくれます。(アレスシックイ1㎡で約83,000^{ppm}の空気中(20畳一部屋分の空気量に相当)に含まれるCO₂を吸収します。)

地球の恵みがもたらす素材を使い、CO₂削減効果により環境改善に役立つことができる、地球環境にやさしい素材です。



CO₂ 除去性評価試験



※異なる濃度で2回測定。いずれもCO₂の吸収効果を確認。
アレスシックイ塗装板を5Lテドラバッグにセットし、一定濃度のCO₂含有空気を封入しCO₂濃度を測定。

小さなお子様やお年寄りのいるご家庭や、ペットを飼っているお家に「自然のやさしさ」を・・・



漆喰の原料である「消石灰」とは？

漆喰の主原料は消石灰です。消石灰は、地中から採掘される石灰石を焼成・消化した白色のパウダーであり、これが漆喰の健康・環境に貢献する機能をもたらしてくれます。

また、日本はこの資源をふんだんに有しており、国内で生産可能な数少ない資源のひとつです。



石灰石の元は、サンゴ礁

消石灰は、サンゴがもととなって生まれた石灰石を焼成・消化したものです。サンゴは共生している微生物と共に、海中の二酸化炭素を取り込み、石灰質(カルシウム)の骨格をつくる特性があります。

おおよそ2億5,000年以上前の海底にあったサンゴ礁が地殻変動によって隆起し、陸地となったのが石灰鉱脈と考えられています。



内装用 消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI

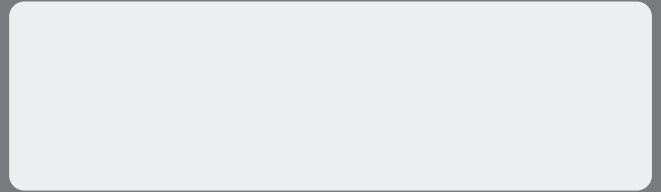
アレスシックイ

「アレスシックイ」は、ローラー塗りなどの簡単な施工で、漆喰独特の質感を活かした上品な室内空間を演出します。さらに、デザイン仕上げなどのバリエーションで個性豊かな空間創りも可能にします。

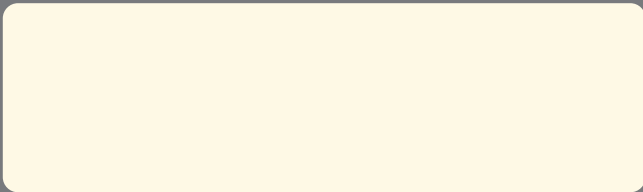
スタンダードカラー



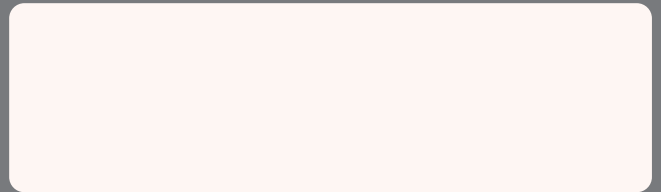
ホワイト



グレー

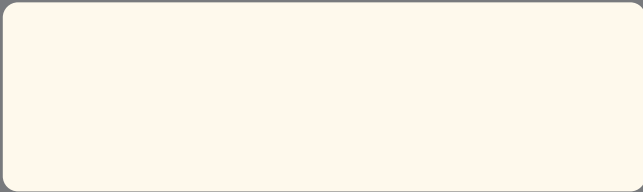


アイボリー

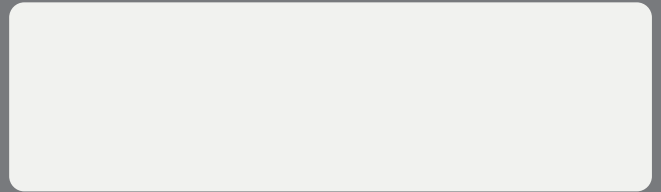


ピンク

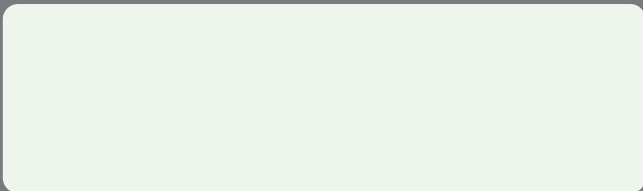
オプションカラー



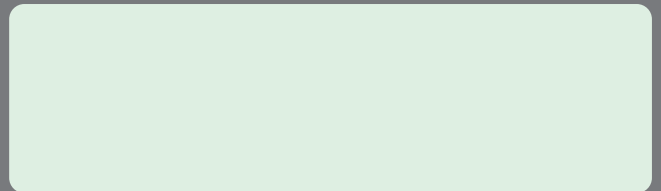
白雲



淡雪



利休ねず

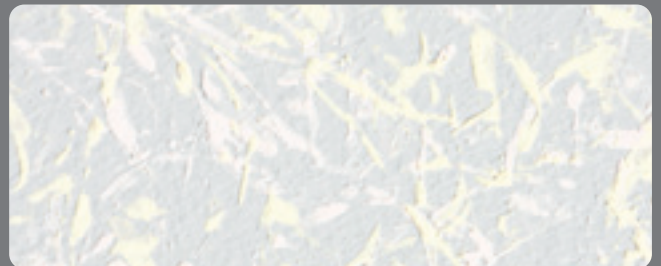


若竹

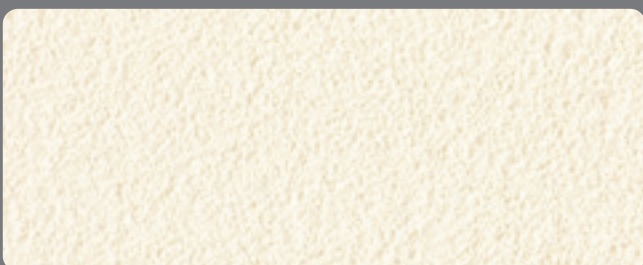
デザイン仕上げ



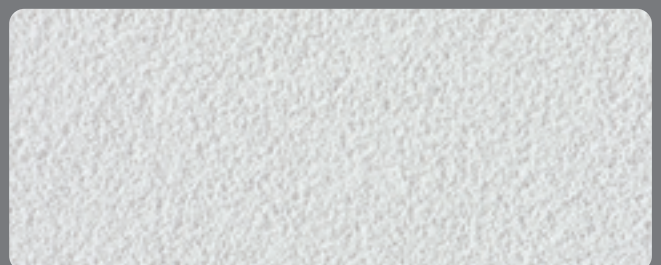
デザイン仕上げ 山桜



デザイン仕上げ 嵐



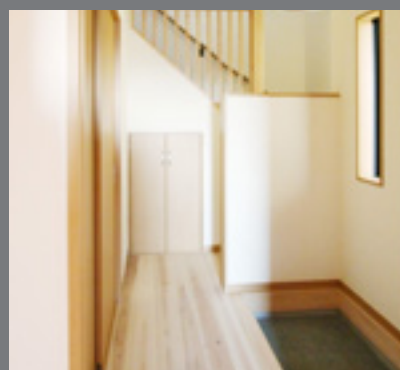
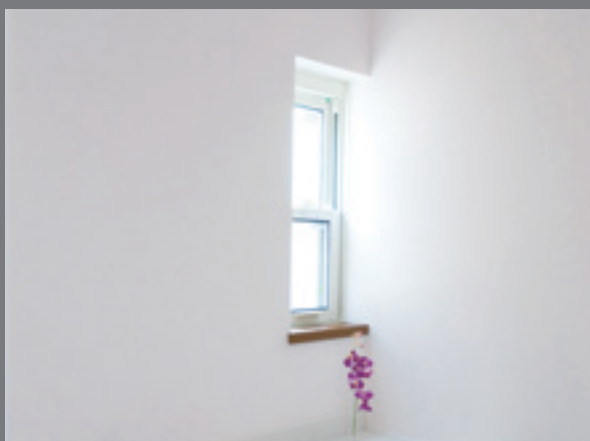
ジュラク風仕上げ アイボリー



ジュラク風仕上げ グレー

※この見本は印刷ですので、実際の仕上りとは多少異なることがあります。

従来の漆喰壁は高度な左官技術を必要とし、施工が難しく施工時間もかかる等の理由から、十分に活かされていませんでした。しかし、ローラー塗りなどの施工が可能で扱いやすくなった「アレスシックイ」は、漆喰の機能をそのままに、和室に限らずさまざまな生活空間、施設等にご利用いただける画期的な製品です。艶の無い独特の質感が上品な空間を演出することでしょう。さらに、デザイン仕上げなどのバリエーションでインテリア演出の可能性を広げます。



アレスシックイによる光の拡散効果と明るさ

アレスシックイを採用されたお客様が塗装後に気づかれることのひとつに、お部屋が上品でより柔らかく感じる明るさがあります。これは塩ビクロスが光を拡散反射しないのに対し、アレスシックイは光を乱反射させる拡散効果があるためです。

写真提供：リビングデザインセンター OZONE 7F Interior Salon 平成 23 年 9 月～平成 24 年 4 月に展示採用



消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI
アレシクイ

素 材：ボード面 コンクリート・スレート・モルタル・石膏ボード・塩ビクロス・ペンキ下地クロス
部 位：内部 壁面
塗装仕様：消石灰系仕上塗り塗材
容 量：15kg、4kg

施工場所	工程	塗料と処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
現地	1 素地調整	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。(pH10以下、含水率8%以下とする。)				
	2 下塗り	アレシクイシーラーネオ/上水	0.12	2時間以上7日以内	刷毛/ローラー	3~10
	3 上塗り(1回目)	アレシクイ/上水	0.16	4時間以上7日以内	刷毛/ローラー	5~10
	4 上塗り(2回目)	アレシクイ/上水	0.20	—	刷毛/ローラー	5~10

(注) (1) 標準所要量は、個々の条件により異なり増減します。
(2) 上塗りの標準塗りつけ量は、1回目0.12 (kg/m²/回) 2回目0.15 (kg/m²/回) です。
(3) 模様仕上げの場合は、別途オプションとなります。(弊社係員までお問い合わせください。)

製品取り扱い上の注意事項(安全衛生他)

施工時の注意事項

塗装時の注意事項

- シーラーレスでの施工は行わず、均一にしっかり塗りこむようにしてください。
- 上塗りの先行刷毛塗りを行う際は、ナイロン刷毛を推奨いたします。(獣毛刷毛を使用すると刷毛が直ぐに劣化します。)
- 上塗り用のローラーは、「WAKABA<大塚刷毛製造(株)>」、「ハイブリッドローラー<好川産業(株)>」または、「アレシクイシーラーネオ<(株)カンパハピオン>」を推奨します。
- ローラーは使用前に十分に余り毛を除去してください。
- 上塗り(1回目)は、均一にEP塗りの感覚で塗装してください。
- 上塗り(2回目)は、ローラーに塗料をタップリ含ませ、棒塗りで仕上げるようにしてください。
- 上塗り(2回目)は、下層膜の影響を受け乾燥が早いので、手早く仕上げるようにしてください。何度もローラーで擦ると艶が変わったり、肌が荒れたり仕上りが悪くなる要因となります。
- 上塗り(2回目)を塗装する際は、棒塗りで仕上げるため塗り残しが発生し易いので、塗り残しの無いよう注意して塗装してください。
- 本品は、補修性が悪いので施工の際は十分に注意してください。(EP塗りと同レベルの補修塗りはできません。)
- 万能ガンの塗料カップなど、アルミ製の塗装用具を用いる場合は、塗料が固着し落ちにくくなりますので、作業を中断する時などは、丁寧に用具の洗浄を行ってください。
- 他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 塗装時及び塗装後に高湿度環境下に置かれると、本来の仕上がり、機能を損なう恐れがありますので避けてください。

下地調整

- ボード継部等の段差は、パテ等を用いて適切な処理を行い平滑にしてください。(パテは十分に乾燥させてください。)
- クロスの上に塗装する場合は、事前に浮きや剥がれ、継ぎ目のメクレなどが生じていないか確認し、不具合箇所は適切な処理を行い補正してください。(処理が不十分な場合、仕上がり塗膜に影響を及ぼすことがあります。)
- 被塗装物がヤニなどで汚れている場合は、中性洗剤などで十分に汚れを除去し、よく乾燥させてからシーラーを塗付してください。(本品は、一般塗料に比べヤニのブリードが発生し易いので注意してください。)

養生等

- 施工面以外に塗材が付着しないよう養生テープ・ビニールシート等で十分に養生してください。
- 塗装後早い時期に養生を除去してください。
- アレシクイ施工面に養生テープを貼る場合(逆養生)は「車両用マスキングテープNo.7239(日東電工社製)」を使用してください。他のテープでは、粘着材が黄色などに変色し、アレシクイ施工面に転写されるおそれがあります。

材料の保管調整

- 現場での材料保管は、室内、屋外ともシート掛けを行い、直射日光・凍結を防止し、高温(40℃以上)低温(5℃以下)での保管は避けてください。
- 下塗り(シーラー)及び上塗り材は希釈上水を添加後、必ずハンドミキサーを使用してよく攪拌し、均一な状態にしてください。

その他注意事項

- 低温(5℃以下)及び高湿度(85%以上)の場合は、施工を避けてください。
- 上記塗り重ね乾燥時間は、温度23℃・湿度50%の場合での目安です。環境条件により乾燥時間は異なりますので注意してください。
- モルタル、コンクリートなどのアルカリ材質は、水分8%以下pH10以下になるまで十分乾燥させてください。
- 布クロスには塗装しないでください。
- 本品取り扱い中は、十分な換気をしてください。特に低温時、密閉状態での施工は避けてください(光沢ムラが発生する場合があります)。
- 本品取り扱い中は、皮膚に付着しないように専用マスク、眼鏡、手袋等保護具を着用してください。(本品は高アルカリのため、皮膚の薬傷、目の損傷を生じることがあります。)
- コーヒーや醤油などの液体汚れが付しやすい場所に施工する場合は、オプションとして「アレシクイEZクリーン(白専用)」を使用してください。(弊社係員までお問い合わせください)
- 子供の手が届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないように注意してください。
- その他、詳細は施工要領書をご参照ください。

施工後の注意事項

- 本品を内壁仕上げ材として使用する場合、通常のEP塗膜に比べ消臭機能での優位性はありますが、表面への汚れ(ヤニ汚れや皮脂による汚れ)付着は同程度となります。
- 施工後の塗膜表面に付着した、ヤニ汚れやこすり汚れなどの軽微な汚れは、メラニンスポンジなどを用いて軽く水拭きするか、#400程度のサンドペーパーを用いて当該部分を軽く研磨することにより除去できますが、塗膜の主成分である消石灰も一緒に擦り取られますので、その部位の艶感や肌が変わる事があります。尚、研磨作業の際には、削り粉が目に入らないよう保護メガネ・防塵マスクなどの保護具を着用してください。
- 施工後の塗膜表面に醤油やコーヒー・お茶など液体の飛沫が付いた場合、通常のEP塗膜などに比べ、性状上吸い込み易く塗膜内部まで浸透してしまうため、中性洗剤や水拭きによる汚れの除去は困難です。この場合、簡易養生・研磨の上、本品を用いて1~2回補修塗りを行ってください。(但し、補修塗りした部位の艶感や肌が変わりますのでご注意ください)なお、オプションとして「アレシクイEZクリーン(白専用)」仕様がございます。(弊社係員までお問い合わせください)
- 「アレシクイEZクリーン(白専用)」を塗装した面を衣類などで強く擦ると、粉化物が付着する場合がありますので注意して下さい。
- タバコや線香の煙成分にて塗膜が着色する場合がありますので注意してください。

ご使用上の注意事項

■製品取り扱い上の注意事項(安全衛生他)

- 安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に下記の事項を守ってください。

予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取手を持って振ったり、取手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
 - 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
 - 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
 - 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。



アルミ容器への移し替えは絶対に行わないでください。
(化学反応により容器が膨張したり破裂することがあります)

廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905
中部 TEL(052)262-0921
大阪 TEL(06)6203-5701

FAX(03)5711-8935
FAX(052)262-0981
FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更する場合がございますのでご諒承ください。

(20年05月31日PKO) カタログNo.650

